

# 藍住町 議会だより

第45号

平成18年5月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



東中富桜つつみ公園

## CONTENTS

定例会 P. 2

一般質問 P. 4

常任委員会主な内容 P.10

特別委員会報告 P.12

町民の声 P.13

中学生議会 P.14

議会のうごき P.16

# 3月定例会

3月定例議会が3月8日から24日までの17日間の会期で開会された。

平成18年度一般会計予算など29議案と、議員提案の議員報酬に関する条例改正など3議案については原案のとおり可決。また、議員提案の助役・議員定数に関する条例改正などの3議案については否決された。

石川町長は平成18年度の所信表明を行った。

## 所信表明

### — 主な施策方針 —

#### 行財政の健全化

事務事業の再編・整理等、平成十七年度から二十一年度までの取り組みを「集中改革プラン」として、策定・公表するよう求められており、本町は国から示された「新地方行革指針」を踏まえ、現在の藍住町行財政改革実施計画を再構築し、更に改革に取り組みたい。

#### 給与構造改革

昨年の人事院勧告を踏まえての抜本的な給与制度の見直しや、職員の能力開発・人材育成を目指した人事評価制度の導入に取り組んでいきたい。

#### 藍住町総合計画

今後十年間のまちづくりの方向性や将来像を示す重要な計画であり、住民と協働のまちづくりを目指して策定。また、行財政改革を念頭においた計画の推進を図りたい。

#### 防災対策

来年度からは、耐震改修助成制度を導入。また、自主防災組織の育成、拡充への取り組みとして、消防団OBを中心に「藍住町防災団」を結成し有事に備えたい。

#### 福祉施策

平成十八年度から「地域

包括支援センター」を直営

で運営。高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が出来るまちづくりに努めたい。

乳幼児医療費助成事業の拡充は、県から詳しい説明を受けた上で対応したい。

また、児童手当の拡充には、申請漏れ等が無いよう、広報に努めたい。

「障害者自立支援法」施行

に伴い、身体・知的・精神と別れている制度が一本化され、各種サービスの利用や利用者負担金が変わることとなり、今年十月からの本格施行に向け諸準備を進めている。

#### 環境問題

今後十五年間を見据えた「一般廃棄物処理基本計画」を策定。ゴミの減量化

を主体とし、住民の生活環境に配慮した基本計画となっている。また、京都議定書に基づく「地球温暖化対策実行計画」についても作成。来年度より、役場庁舎、西・中央クリンステーションにおいて一層のCO2削減に努めていく。

#### 教育・文化

小学校の教員を対象に、子供達との実践形式の中で、英語の教え方を指導出来る教員、一名の配置を町単独事業として実施する。

#### 道路事業

町道江ノ口新居須線の千鳥ヶ浜地区は、台風の度に道路が冠水し御迷惑をかけている。現在、改良に向け調査設計を進めるとともに、平成十八年度地方道路整備臨時交付金事業として採択されるよう、国に要望している。事業の採択をいたしたいら出来るだけ早い機会に道路の高さを改善する工事を実施したい。

# 報 告



平成17年9月定例会撮影

病氣療養中でありました西谷修議員が三月三日、死去されました。享年六十九歳。  
西谷議員は、平成十二年二月初当選し現在は二期目でした。この間、文教常任委員会委員長、議会だより編集委員会委員長等を歴任されておりました。  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 平成18年度 一般会計予算

# 75億1,300万円

前年度当初予算対比1.8%増額

### 主な予算

(1万円未満切り捨て)

総務費	● 危機管理対策費	1,791万円
	● 滞納整理機構負担金	450万円
民生費	● 児童手当	2億8,050万円
衛生費	● ゴミ収集車等買換費	930万円
	● 東部臨海処分場対策基金負担金	8,838万円
農林水産業費	● 農地防災事業費	2,628万円
	● 一般排水路改良費	2,562万円
土木費	● 道路維持費	1,569万円
	● 道路簡易舗装費	5,175万円
	● 一般町道新設改良費	1,318万円
	● 主要町道整備事業工事請負費	3,000万円
消防費	● 板野東部消防組合負担金	3億5,577万円
教育費	● 小学校英語活動推進費	389万円
	● 「藍の館」寝床修繕費	1,200万円

## 平成18年度予算(会計別)の状況

(単位:円)

会計名	予算額	前年度当初予算対比
一般会計	75億1300万	1.8%
特別会計	国民健康保険事業	23億850万9000 11.3%
	老人保健事業	17億5359万 Δ0.1%
	介護保険事業	15億9079万5000 8.6%
	藍寿苑介護サービス事業	3億2308万7000 1.7%
	下水道事業	8億8300万 67.4%
	水道	
収益的支出	3億9028万1000 Δ0.1%	
資本的支出	2億2806万7000 Δ14.2%	

### 総体質問

本町におけるウィーニー対策は？

全職員に対し個人情報保護条例、電子情報取扱い規定の確認と注意を求めているが、再度、注意を求めている。

平成十八年度下水道建設費の増加は？

増加した主な内容は、奥野地区管渠布設工事二・六kmを予定し、工事請負額で二億五千七百万円。また、流域下水道負担金三千四四七万円増加をしている。

## 平成17年度3月補正予算(会計別)の状況

(単位:円)

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	△1億8790万	76億502万5000	
特別会計	国民健康保険事業	△3666万3000	23億708万8000
	老人保健事業	5021万	17億9889万8000
	介護保険事業	883万3000	15億1412万8000
	下水道事業	△1918万	5億832万

## 追悼演説



故 高橋 始 議員

三月八日、定例会開会冒頭、去る一月二日に御逝去された

故高橋始議員の追悼演説が行われました。

同僚議員の木内眞三郎氏より「高橋君の議会活動への情熱、残された足跡、数々の功績は、高橋君の思い出と共に引き継がれてまいります。本日、ここに高橋君の功績を称え、心よりご冥福をお祈りします。」との追悼の言葉が述べられました。

一部委員会で委員長・副委員長の変更がありました。

〔敬称略〕

- 建設産業常任委員会(3月17日就任)

副委員長 林 茂

- 文教常任委員会(3月20日就任)

副委員長 奥村 晴明

- まちづくり特別委員会(3月24日就任)

委員長 林 茂

- 合併調査特別委員会(2月2日就任)

委員長 永 浜 茂 樹  
副委員長 喜 田 敏 夫

## 町政のことが聞きたい

## 議員5人が一般質問

## 教育について

幼稚園や保育所において、常に保護者と一体になった、子育てに対する問題点や保育等、対話ができるような指導はできているか伺いた

い。  
先般、滋賀県長浜市で幼稚園児二人が送迎していた同級生の母親に刺殺された事件があり小さな命が失われた。新聞やテレビ等マスコミでも報道されていたが、

犯行の要因に子育てに関する悩みがあったと言われており、悩みを相談する人が少なかったと聞く。

本町幼稚園において、仕事と子育ての両立で忙しく、いろいろ問題点を抱えたときに、先生に相談することができる体制ができている

のか伺いたい。

今後とも信頼関係を深めていくよう指導

学校、保護者、地域の方達とのコミュニケーションの重大な部分を占めている。それぞれの立場



小川 幸英 議員

での協力体制が必要であり、御協力もいただいている。教育委員からも再三にわたり御指摘をいただいております、校長・園長を通じて周知徹底を図っているところである。今後とも、子供達の健やかな成長のため、保育所、幼稚園の職員が保護者と十分連絡を取り合って、信頼関係を深めていくよう指導したいと思っている。

## 環境について

正法寺川周辺堤防沿いのゴミについてお伺いする。

正法寺川周辺の管轄はどこにあるのか。正法寺川の千鳥橋から住吉団地入り口にかけて、一昨年の度重なる台風でゴミが流れて散乱状態にあった。この周辺はススキや雑草が川岸に生え、三十年間も清掃されていない箇所がたくさんある。今後どのようにしていくのか。

県、徳島市とも相談し清掃

正法寺川の管轄は県にあるが、住吉団地入

り口にかけてのゴミは早急に相談し、清掃していきたい。

## 福祉について

乳幼児医療費助成事業の拡充について、県当局より

今年一月に県補助の拡充の基本的な考え方が示されたが、支給対象年齢を通入院とも七歳未満まで拡充されることになった。県では平成十八年十月一日からの実施が予定されているが、町長の施政方針では、少子化対策の有効な手段の一つと考えており、財政事情が許せば積極的に取り組んでい

きたいと考えていると答えている。他の市町村では、今年度の予算に組み込んでいくところもあると聞か、県に合わせるのではなく、積極的に今年度の予算に組み込んでいかか。

対象年齢の拡充実施時期は本年十月を予定

基本的には県が新制度を施行する本年十月に合わせて県の補助内容に沿った改正を考えているが、所得制限については、独自の施策の検討を加えているところである。また、給付方法等、事務的にい

## 町民農園について

ろいろと検討すべき事項があるが、実施に向けて前向きに進めていきたいと考えている。

十二月の補正予算で町民農園整備費が計上された

が、いつ整備出来るのか、また、どのように町民に対し周知し、募集していくのか。四月から五月にかけては夏野菜の植え時であり、虫も付きにくい。早急に整備すべきであると思うがいかがか。

六月以降に希望者を募集

富吉にある町有地を予定しており、全体面積は一、三九六㎡。管理していたら、六月以降に広報等で募集をし開園を目指したいと考えている。

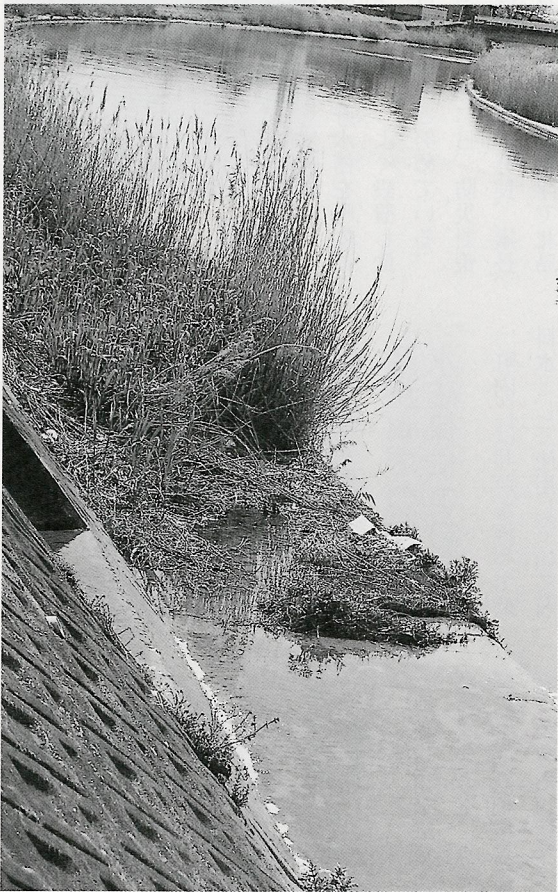
## 第四次総合計画について

スポーツレクリエーション施設の整備充実および管理体制の充実の中で、町民の健康増進を図るため、温水プール（町民プール）や体育館、トレーニング室などを備えた総合型スポーツ施設の建設を検討するとあるが、昨年、議会において何回となく質問をさせていただいたが、町長は、中学生のアンケートでもプール建設に関しての要望が多かった屋内型プールの建設は、中学生の授業での使用はもちろんのこと、町民の健康増進や生き甲斐づくりには必要な施設であると考えている。誰もが子供達に対して豊かな心を育み、身体的にも精神的にも健やかな成長を望んでいると答えている。それなら、早急に具体

化していかないのか。財政状況が苦しくとも、町民のためやらなければならない事業は積極的に取り組んでいくと答えている以上は、予算化して取り組んでいただきたい。

財政状況を踏まえ検討

総合計画策定の初期の段階で、町民アンケートや当時の中学生二の意見求めたところ、町民プール再開を望む声がたくさん寄せられ、こうした町民の声を大事にし、町政に反映させることは政治の責任であると考えている。また、町民の皆さんの健康増進や生き甲斐づくりには必要な施設であると思つている。従つて、第4次藍住町総合計画の中で建設に向けての懸案事項の一つとして位置付け、検討を加えるとしたものである。財政状況を踏まえ、役場周辺の公共施設の一体的な整理計画と併せて検討したいと思つている。



正法寺川千鳥橋下流



永浜 茂樹 議員

### 自主防災組織の結成 支援とリーダー養成

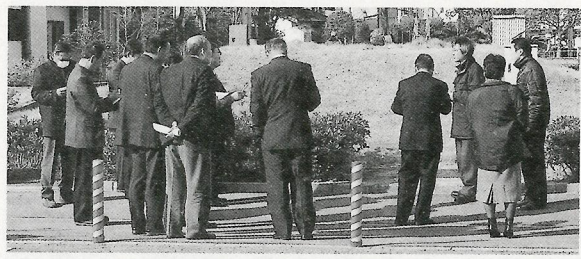
各地域で活動されている地区協の役員、消防団OB、駐在員、地域ボランティアの方が共に防災避難訓練をする体制づくりを、各児童館別に地区協の年間行事の中へ取り組みされてはどうか。自主防災組織結成へ行政の支援を願いたい。

### 藍住町防災団が結成

防災避難訓練の年間行事への取り入れについては、地区協に相談をさせていただきたい。

### 飲料水兼用耐震 性貯水槽設置

南海地震等、大きな災害で道路が寸断、水道管が破裂の想定に備え、北島・松茂町は浄水場が一ヶ所では不安であるとして、飲料水



北島町耐震性貯水槽

兼用耐震性貯水槽を町内に「バランス」よく設置し飲料水確保にと努めている。そこで二月二日、防災対策

特別委員会で、町長、議長助役、関係職員同伴で北島町へ現地視察を実施、防災意識への取り組み姿勢、熱意を感じた。地震災害時には「水が命」である。町民が安心できる行政の対策を。

水道浄水場の貯水タンクを活用  
災害時の飲料水確保の対策は財政面も含めて考える必要がある、将来、浄水場整備拡張するときに合わせて検討するのが最も現実的な方法と考えている。

### 井戸水での飲料 水確保について

町内には井戸を掘って飲料水として使用している所がある。町民の地震災害時の飲料水確保の施策として、行政の調査、検討、対策を。

### 自立経営農業振興 会の方にも相談

井戸の利用について研究すべき事項が多々ある。今後の方針について検討していきたい。

### 各地域別避難場所・ 経路記載防災マップ

障害者、幼児、高齢者等、災害弱者の方が迷わず避難できるよう、近くの場所の明記、経路も記入の「地域防災マップ」の作成を。

様々な防災マップを参考に検討  
現在、洪水ハザード

マップの作成を予定しており、それには避難に関する情報を地図上に図示していきたい。また、その後に地震を対象としたマップの作成に取り組んでいきたい。

### 救護用機材、自動除 細動器・AED設置

県教育委員会スポーツ健康課によると、AEDは全ての県立高校に設置とのこと。本町も災害やスポーツも視野に入れ町内全校への設置計画を。

### 今後、必要と思わ れる施設への設置 を行っていききたい

各施設管理者と協議しながら検討を進めていきたい。

### 防災用品購入事業、 補助金交付対策

北島・松茂町では防災意識の向上を図るため「防災用品購入事業補助金交付要綱」を策定し、災害被害未然防止対策に取り組んでいる。本町も今後、防災意識の高揚を図るためにも「防災グッズ」を各老人憩の家

に設置し、災害弱者支援対

策にと啓発していただきたい。  
防災意識の高揚や災害への備えを啓発  
各老人憩の家へ防災用品を出来るだけ展示出来るよう進めていきたい。

### ボランティア活 動保険について

子供の通学、登下校の安心・安全確保策として、PTAや地域住民による自主ボランティアの方に、事故補償策として「ボランティア活動保険」がある。行政の内容把握、手続きを。

自分の子供を犯罪被害から守るため、学校行事の日曜参観日に通学路安全確認体験を実施し危険箇所点検、通学路の変更等、検討対応策は。

### 学校と協議し保護者 の「活動保険加入」が できるよう進めたい

通学路安全確認日曜体験は学校現場へ報告をしたい。通学路の危険箇所の点検、整備は保護者との連携のもと、各校で安全マップ等を作成し調査をしている。

### 笠木交差点北側道 路改良について

県道南側の交差点改良により、朝夕、車の渋滞も緩和され、歩道の安全も含め町民の方は大変、喜んでい

### 実施に向けて検討

北側交差点改良については今後、実施に向けて検討していきたい。

### 町民温水プー ルについて

町民の健康保持に寄与する施策、藍住スポーツクラブの内容に配慮し、財政面においても良く検討し、充実した施設内容のトレーニング併用施設「町民温水プール」年次計画推進を。

### 財政を踏まえ検討

学校の授業、健康増進等に必要であると考えているが、財源等、条件が整わないと着手が出来ない。これから町民の声をよりどころとして検討を加えていきたい。



議員 林 茂

### 小泉「税制改革」で町民負担は

老年者控除の廃止、公的年金控除額の引き下げ、定率減税の半減、廃止等で、年金生活者は、連動して国保税や介護保険料も負担増になる。介護サービスを利用する人の場合には、ホテルコストの負担等、大変である。

- ①六十五歳以上の公的年金控除引き下げによる影響額は、
  - ②老年者非課税制度廃止による影響額は、
  - ③定率減税半減による影響額は、
  - ④介護保険料の増収見込みは、
  - ⑤国保税の増収見込みは、
- 税収増は住民の福祉に還元すべき。支払いが困難な世帯に対する国保税や介護保険料の軽減措置に使うべきだと考えるが。

増収推計額は、町民税、約七千万円・国保税、約五百万円

三位一体の改革に伴う補助金縮減等があり、直ちに増収になるとはいえない点がある。介護保険料は、税制改正の影響による増収はないが、税制改革の影響により所得段階が上がると、二年前の激変緩和措置がある。また、生活が困窮し納税が著しく困難となった場合、徴収猶予や減免措置がある。税や保険料が大切な財源である事を踏まえ慎重に対応していきたい。

### 乳幼児医療費無料化の実施と対応は

対象年齢を七才未満まで引き上げるが、町の負担はどれくらい必要か。

- ①自己負担の導入と所得制限は行わないように。
- ②受診や申請などの負担が大きく、事務的にも煩雑な償還払いはやめ、現物給付にしたい。
- ③六歳未満の入院時の食費助成は継続し、対象年齢を七歳まで引き上げること。

十月からの実施に向け検討中

基本的には県の制度改正にそった内容での実施を考えており、受給者に一部負担を願わざるを得ないと考えている。所得制限は、限度額を超える方について本町独自に年間五万円を限度とする給付制度があり、その措置を継続する方向で検討をしている。また、給付方法については近隣町の状況を見ながら検討していきたい。

### 住宅耐震診断の結果と今後の対応は

住宅改修助成制度について計画の具体化は、昨年度、町が行った住宅耐震診断の結果とその分析について今後の対応は、

高齢者世帯に対する金具取り付けの検討は、

耐震診断結果、四二％が倒壊の危険と診断

耐震改修支援事業は一五戸を予定しており、県の補助基準により実施したいと考えている。

耐震診断の必要性や事業の広報等を行い耐震改修へつなげたい。

高齢者世帯では、金具の取り付けは難しく、何らかの支援が必要と考える。いろいろな取り組みを参考にしながら進めていきたい。

### 「三位一体改革」による町の影響は

「三位一体改革」の名で国の財政赤字を地方自治体へ責任を転嫁し、交付金などを減らしている。町に対する削減額は、

国は、地方自治体に職員の数削減と給与を減らすよう圧力をかけているが、公務員が現在の財政赤字を作ったと町長は思われるの

### 町財政に大きな影響

平成十三～十五年度の三カ年間で、三位一体の改革が始まった平成十六～十八年度の三カ年間で単純に比較すると約一三億円、地方交付税が減額となつて

はその結果、住民サービスを下させないような行財政改革を進めていかなければならないと考えている。

### 公共下水道事業より合併浄化槽が有利

- ①小型浄化槽の処理性能は下水道と同じ処理能力。
- ②生活排水処理施設の建設費・維持管理は合併浄化槽が安いという全国の調査結果。
- ③耐震性も阪神淡路大震災で下水道より浄化槽が優れているということが明らかになった。

町財政が厳しい中で、公共下水道事業に莫大な費用を使うのをやめ合併浄化槽に見直すこと。

地域の实情に応じた処理方法で対応する必要がある

本町は面積が狭く、町全体が平坦で全域に宅地化が進んでおり、下水道の整備が適していると考えている。各年度の財政状況を見極め、コスト削減に努め、効率的な整備を進めていきたい。

### 平成17年度耐震診断結果

(H18.3.1現在)

- 診断実施戸数 51戸
- 診断結果済戸数 50戸

診断結果	戸数
全安	1
一応安全	12
やや危険	16
倒壊または大破壊の危険	21



西岡 恵子 議員

### 藍住町立図書館について

図書館業務の一部外部委託により約一年が経過した。この間の町職員との連携、業務実績（財政面含む）、今後の課題についてお尋ねしたい。また、他の自治体で既に取り組んでいるホームページとのリンクにより検索出来るようにしてはどうか。なお、開館時間延長についても利用者より要望があれば検討をお願いする。

### 平成十七年度・約八百万円の経費削減効果

委託前と同様のサービスを提供できていると思っている。委託内容は、カウンター業務を主とし、図書館サービスも町職員、NPO職員が連携し行っている。課題としてカウン

### 学校図書について

ター業務以外も検討していく必要があると考えている。インターネットによる図書検索サービス導入は財政上の問題もあり難しい。

学校図書の予算は地方財政措置がとられているが充実した予算化がなされているのか。また、その図書は朝の読書等で十分活用されているのか。

### 交付税算入額確保に配慮し予算を計上

新規購入とは別に、町立図書館からの団体貸出による図書の充実も図っている。小・中学校で、朝の一斉読書等を実施し、朝の読書を楽しみにしている子供が多くなる等の効果が現れている。

### 子ども達の安全について

新学期になるとランドセルに黄色のカバーをし、通学する風景が見受けられたが、今このカバーについて一部議論がある。適切な対応をお願いする。

### 保護者や学校と協議をし対応

交通安全には効果を上げてきているが、一年生と特定できることに不安を感じるとの声もあり、検討をしていく必要がある。

### 藍住町介護保険事業計画について

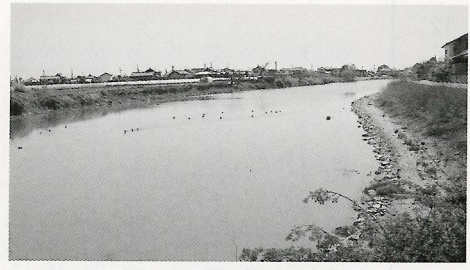
平成十八年度からは、より予防に重点をおいた大幅な見直しとなるが、新介護保険料の設定等について具体的に示していただきたい。また、新設の地域包括支援センターの役割、目的について説明を求めたい。さらに、将来を見据えた糖尿病対策も並行して行うようお願いする。

### 平成十八〜二十年度の介護保険料は五、四八〇円

改正で重視されている介護予防は、自宅での自立した生活を支援し、要支援・要介護状態にならない等を目的としている。また、地域包括支援センターの基本機能は、介護予防ケアマネジメント、高齢者の実態把握、相談支援、権利擁護業務等を担うものである。生活習慣病対策については、日常生活の注意点等の周知を図り、介護や医療の給付抑制に努めていきたい。

### 正法寺川の清流ルネッサンスIIについて

正法寺川は平成十四年、水質汚染の著しい河川として、水質改善目的で選定され、改善緊急行動計画・清流ルネッサンスIIが策定され、平成二十四年にはBOD（生物学的酸素要求量）五mg/l以下にし、鯉や鮒が生息し、川沿いの散策を楽しむことを目指すとなっているが、現在の正法寺川の水質状態について。また、現在設置の接触酸化施設が効果を示すようなら、本村川流入口にも設置を



正法寺川

検討とありましたが県に要求するの。下水道完備を想定した正法寺川の未来像、水量の確保はできるのかお尋ねしたい。

### 以前と比べ水質が良くなっている

浄化施設の設置により、BODで効果が出ており、本村川流入地点にも設置を要望したいと思っている。

下水道の普及により正法寺川に流入する水量の減少という懸念があるが、みどり橋下流の堰等により川の水量が大きく減少することはないと思われる。

### 災害弱者に対する防災計画について

災害弱者に対しての避難支援、避難所の施設指定はできているのか。また、協力ボランティアの把握も早急に必要な。何より当事者からの情報収集が大切。その取り組みについてお尋ねしたい。

現在、把握している福祉目的情報は個人情報保護法で災害に対し流用は困難と聞くが、どのように取り組まれるのか。災害時の飲料水確保について、町内にある井戸水の把握を早急にすること。各家庭には一人当たりの必要量三リットの三日分ポリタンク（このポリタンクは大掃除の補助金を充て、災害用として支給してはどうか）二個確保の指導をすることを願う。

### 障害者の方の優先避難所指定

災害発生時に防災関係者が情報をスムーズに利用できる体制等を整えた上で、要援護者の情報把握の調査等に着手していきたい。ポリタンク配付は担当課と十分協議・検討したい。





喜田 敏夫議員

## 「社会不安の中での自治体行政」の見通しは？

小泉首相が政権の座について五年の間、「改革無くして進展なし」という耳触りの良い言葉で今なお高い支持率を得ながら、「地方に出来ることは地方に」「民間に出来ることは民間に」と本来、国の責任ですべき事業をどんどん「丸投げ」をしている。私たち国民には定率減税の廃止、年金改悪、医療制度の改悪などを押し付け、生活はますます苦しく、就学援助費の受給率を見ても東京で二五%、大阪で二七%、東京の足立区などは四二%という数字を見ても格差の拡大は確実に大きくなっている。生活のために「他人の金を盗み、金のためなら平気で人を殺す」というような殺伐とし

かがか。

さらに積極的な取り組みが必要である

昨年三月に国から新地方行革指針が示され、事務事業の再編・整理、民間委託等の推進、定員・給与の適正化等の七項目について、今後五年間の集中改革プランを策定し公表するよう求められており、本町は、この新地方行革指針を踏まえて、現在の藍住町行政改革実施計画を再構築し、さらに改革に取り組みたいと考えている。

## 「藍住町の舵取りは大丈夫」か？

石川町長は、平成十八年度の姿勢方針で「平成十六

年度、平成十七年度とも、ほぼ収支均衡の決算が見込まれ改革の効果は現れている」といつていますが、改革の効果ではなく大きな事業をしなかっただけではいいのか。また、「藍の館」や「児童館」などを「指定管理者制度」という新たな制度を作って外部団体へ「丸投げ」しただけであり、なら改革は出来ていないのではないか。さらに町長は「行財政改革には職員の意識改革が不可欠」といつてきたが、この二年間、職員の給料を五%カットはしたが行財政改革に向けた「職員の意識」はどのように変わったのか。

財政的基盤を語らずして自治体運営はやっていけない

藍の館等、委託をしているが、責任は残っている。日頃から住民の皆様は満足いただいているか注意を払い関心を持って事業を見守っており、丸投げとは思っていない。また、事業をしていないだけではとの事でありましたが、財政が厳しい中

で財源の確保の見通しが見えない限りは、大きな事業はやりたくてもやれない事を理解していただきたい。職員の意識改革については、町の現状を理解いただき、二年間の給与一律カットの協力、行財政改革大綱や実施計画の策定等、積極的に取り組み、いろいろ

## 「未収金の回収」のめどは？

未収金の収納率アップのために四月からスタートするといわれている「徳島県滞納整理機構」はどのような組織で、どのような手法

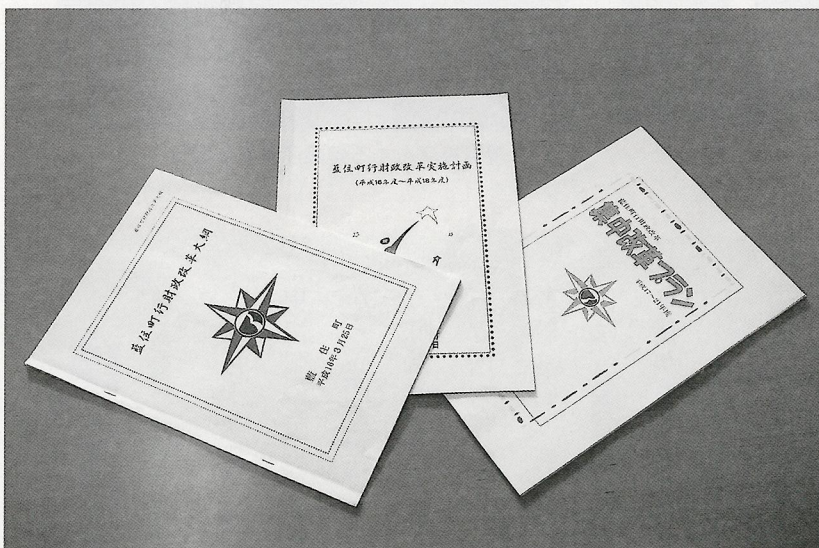
な提案や検討をいただき、各分野における改革が行われてきたものと考えている。

徳島滞納整理機構・滞納事案を迅速、適正、効率的に処理

徳島滞納整理機構は、市町村からの派遣職員、徴収事務の経験豊かな県派遣職員、弁護士、元国税職員、元警察官で構成する専門性の高い組織を予定。滞納事案を迅速に適正かつ効率的に処理することで町税の徴収率の向上を図るとともに、納税に対する不公平感を払拭し、町民の方々に税に対する御理解を深めていた、たく事が発足の主眼である。

本町では現在、滞納者に対し滞納整理機構への移管予告書を送付しており、速やかな納税や納税相談を実施し自主納付を促している。全額納付をしていただけない場合は全て移管対象者とし、その中から移管判定委員会が移管対象者を選定し決定していききたい。

で未収金の回収をしようとしているのか説明を求めた。



行財政改革大綱・実施計画・集中改革プラン

## 総務常任委員会

三月二十二日、総務常任委員会が開催された。

滞納整理機構への負担金四五〇万円について、本町では三〇件を移管し、滞納額の一七％を目標にしており、その額は負担金を上回ると考えているとの説明であった。

第四次総合計画については、人口増加によるコミュニティの希薄化が懸念されており、その形成について取り上げている。また、商業の現状と課題では、様々な問題点を取り上げ、その解決に向けての施策を計画に盛り込んでいる等の答弁であった。

本町における昇任・昇級制度についての質疑には、一定の年齢や経験による運用をしているが見直しも検討している。人件費はかなりのウエイトを占めており、新規採用を抑える等の見直しを行い、拡大しないように努力をしているとの答弁であった。

# 主な内容



現場視察をする建設産業常任委員

## 建設産業常任委員会

三月十七日、開催され、町道路線認定・変更について現場視察を行った後、関係理事者から説明を受け審査を行った。

町営住宅のこれからの構想はとの質疑に、五ヶ所の住宅を政策空き屋とし、新規入居や修繕を行っていない。しかし、現在の入居者には、家賃補償の問題や入居を必要とされる事情があること等により、自然退居を傍観している状況との説明であった。

下水道事業は、工事が進むほど町債や繰入金額も増えてくる。また、公共枿の負担金や宅内工事費は低所得・年金生活者に負担できるのかとの質疑に、できるだけ工事費を安くするよう努めるとの答弁であった。なお、下水道事業予算案について、莫大な財政支出や金利負担を要し、福祉や教育等サービスの切り捨てにもつながっていくとし、反対の討論があった。

## 文教常任委員会

三月二十日、文教常任委員会が開催された。

教職員住宅の入居状況や今後の対策についての質疑に、全戸数五戸の内、入居は一戸で、将来的には撤去を行い、その後の土地利用については検討していくとの説明であった。

中学校費の防犯システム整備についての質疑に対し、防犯カメラの設置で、赤外線内蔵カメラ八台、人感ライト六台を予定しており、小学校への設置は今後、検討していくとの答弁であった。

武道館の施設管理対策についての質問に、夏場の日よけ対策は今年の夏に間に合うように対応策を考えていくとの答弁であった。なお、雨漏り等について一時的な補修の繰り返しでは経費の無駄であり、根本的な対応策を考える必要があるのではとの意見が出された。

# 常任委員会

## 厚生常任委員会

三月十六日、厚生常任委員会が開催された。

藍寿苑介護サービス事業予算の内、一般会計からの繰入金についての質疑に対し、人件費が予算の七七%を占めており、退職者の補充を臨時職員で対応する等、一般会計からの繰り入れしないよう努力していくとの説明であった。

東部臨海処分場対策基金負担金についての質問には、平成十四年からの地元対策費であり、平成十八年度で精算、終了であるとの説明であった。

児童館施設管理委託料の予算が平成十七年度当初予算より増加している理由について、平成十七年度も予算の補正を行っており、最終的には大差はない。また、学童保育の希望者が大幅に増加し、職員三名を増員する予定であり、今後、予算の補正を行う予定であるとの説明であった。

# 特別委員会報告

## まちづくり特別委員会

二月十七日、委員会が開催され、町が管理している河川敷運動公園、桜づつみ公園、県による正法寺川河川整備の状況について現場視察を行った後、説明を受け質疑を行った。

公園管理では整備点検の通報方法に質疑があり、町担当課が発見する場合と清掃等委託先からの通報があり、簡単な補修はすぐに行い、危険なものや費用のかかるものも、予算を確保し補修を行っているとの説明であった。また、正法寺川公園と桜づつみ公園の委託費用の違いについては、正法寺川公園は担当課が見回りの際に除草等、作業内容を委託し、親水公園と桜づつみ公園はNPO法人ライフサポートセンターの指導員が定期的に清掃、管理を行っているために違いがあるとの答弁であった。

## 合併調査特別委員会

二月二日に委員会が開催され、担当理事者より市町村合併の現状と合併新法の概要について説明を受け、質疑が行われた。

県の構想策定はいずれはでてくる。合併しない訳にはいかないのでは。当面、自立でよいと思うが、そのことに対する見通しはあるのか。などの意見や質疑に、今の本町の状況は、自立可能な行財政運営ができるよう行財政改革に取り組んでいるところである。県の結論が出て、合併の枠組みを示された市町村は合併をするか検討しなくてはならない。板野郡は郡の中で合併を協議してきた経緯もあり残された五町で話し合いをすることになってくる。何れにしても、県の審議会の答申により、合併の議論や様々な協議が始まると考えているとの答弁であった。

## 防災対策特別委員会

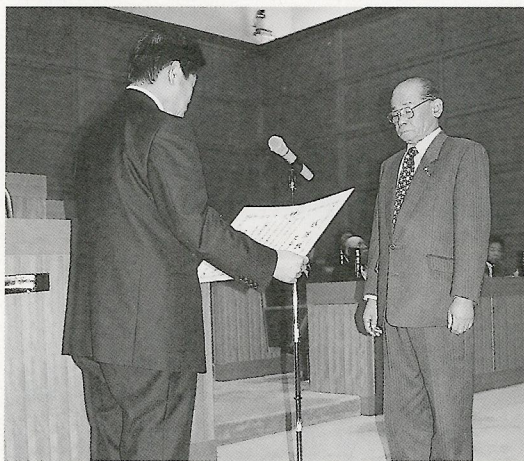
二月二日に、委員会が開催され、北島町にある飲料水兼用耐震性貯水槽の視察を行った後、担当者より防災対策の取り組み状況や平成十八年度の計画等について説明があり協議が行われた。

耐震性貯水槽に関係して、貯水槽より水を汲み上げる方法について質疑があり、水中ポンプを購入して対応したい。水の分配方法については現在、検討中との答弁であった。

実際に災害が起こった際、疫病・物資供給・ゴミ問題等、民間の力を借りる必要がある、普段から契約をしておくことや、職員に対する非常招集の訓練、また、防災に対する説明等を行い、いざというときに体制がとれるよう指導をしておくべきであるとの提言があった。



飲料水兼用耐震性貯水槽を視察する委員



## 生越貞吉議員に感謝状贈呈

三月二十四日、藍住町議会議員に対する感謝状贈呈式が行われました。

昭和五十一年二月以来、本町議会議員として多年にわたる精励され、議長並びに各常任委員会委員長の重責を歴任されるなど議会の円滑な運営と町政発展に貢献された生越貞吉議員に、議員在職三十年に達する者として、町長より感謝状が贈られました。

## 陳 情

1件の陳情がありました。

▼「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情

陳情者 日本国家公務員労働組合連合会

## 平成18年 第1回臨時議会

2月28日、開催の臨時会において次の議案が上程され、審議の結果、原案のとおり可決した。

奥野乾第4分区公共下水道水道管渠布設工事の請負契約について

請負額 7549万5000円

請負業者 大徳建設(株)

# 町民の声

## 町経費の節減を望む

乙 瀬 井 上 常 男

厳しい財政状況にある最近の自治体では、経費削減のため、議会議員や職員の数削減、報酬減額などが行われており、近隣の北島、板野両町議会でも、それぞれ二人の定数削減を行っています。

藍住町では、町議会の議員五名は、議員が率先して経費削減に取り組むべきであると主張。県内町村で助役二人制は藍住町だけであり、一人制にすべきである。また、現町議会議員二十人から二人削減すべきだ。定数削減等は、行財政改革を支持する町民の期待するところであるとして、三月二十四日の町議会にこの削減二案が提案された。

助役二人制廃止案は起立採決の結果、議案提出の五人と議員一名が賛成したが、賛成六、反対一〇で否決された。

また、議員定数削減案は、先の議案提案した五人のほか、議員一名が加わり提案したが無記名投票の結果、賛成七、反対一〇で否決された。

このように、二議案は否決されましたが、これを提案賛成し、議員ご自身の利益を犠牲にし、町民のために努力をされた方々の決断に対し、敬意を表するものです。

なお、参考までですが、助役一人にした場合は、一期四年間で約四千八百万円の節減となり、町議員定数を二人削減すれば、年間七百万円の節減になるといわれています。以上

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見を  
お寄せ下さい。

### 投稿規定

- 1 住所・氏名・電話番号を明記。
- 2 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 3 字数は500字以内。
- 4 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

# 中 学 生 議 会

2月8日、議会の場での質問という体験を通じて議会制民主主義を学び、日常生活における行政の仕組みや議会の役割について考えるという主旨で「中学生議会」が開催されました。中学生議員の中から選ばれた議長・副議長の進行により20名が一般質問をし、町長をはじめ町理事者に考えを聞きました。質問と答弁の主な内容を紹介いたします。

**Q** 藍住町の水道水の水質は以前より悪くなっているのですか。古くなった水道管を新しくする工事は行っているのですか。

**A** 現在の水質は昭和四十年頃の水準と比較しても低下はほとんど見られません。古い水道管は毎年、計画的に新しい水道管に交換する工事を行っています。

**Q** 赤字問題に対する対策は。藍住町と他の町が合併することはないのですか。

**A** 藍住町も数年前から非常に厳しい財政状況に陥り、行財政改革を行う大筋の計画である藍住町行財政改革大綱と、これを実行していく実施計画を策定し改革に取り組んでいます。改革を進め合併しなくても自立していけるよう努力したいと思っています。

に工事しています。水害対策では、排水路を広くしたり河川を丈夫にして台風に備えています。藍住町でも一昨年の台風で排水路が溢れて大きな被害を受けました。この時は排水ポンプにより吉野川へ排水をしました。

**Q** 生活用水はどこから汲み上げ、浄水はどのようにしているのですか。給水制限の心配は。水道管破裂はどのように探すのですか。

**A** 藍住町の水道水は地塩素で消毒しマンガンという物質を取り除いています。給水制限の心配は無いとは言いません。水道管破裂の場所は道路面が濡れている等で分かります。また計画的に地区を定めて夜間に水道水の漏れる音を調査しています。

しています。大地震への対策は地域防災計画を作る等して災害に対する取り組みを行っています。しかし町や消防関係者だけの力で対応するには限界があり、各家庭や地域でも日頃から災害に備えておくことが大切です。

**Q** 藍住町の税収入は増えていくのですか。

**A** 税金の滞納問題は。税収の推移は平成十六年度は少し増加に転じており、本年度も昨年度をやや上回る税収になると予測しています。町税の滞納問題では約九八％が納税され、残り約二％が滞納となっています。社会は一人ひとりの税金で成り立っていることを訴え滞納の解消を図っていききたいと思います。

障害者のサービス利用状況が大きく変わりました。手続きは役場に申し込みをしていたら、これを受け福祉課がその障害の状況に応じてサービス量を定め、障害者が事業者との契約により希望するサービスを受けることとなります。

**Q** インフルエンザの予防接種の費用負担や罹った場合の医療費について、町では何か取り組みを考えているのですか。

**A** 高齢者は接種費用の内、千円を町が負担しています。これ以外の場合、全額が自己負担となります。予防接種には発病を抑えたり罹っても症状が軽く済むという効果があります。しかし大切なことは普段から罹らないように心がけることで、町としても日常生活で注意することを啓発し町民の健康を増進していくことに努めていきたいと考えています。

**A** 藍住町が誕生した昭和三十年の人口は、一〇、五四四人でした。昭和四十年代後半から六十年頃まで急激に人口が増え続け、今年の一月一日現在で三二、五三四人。現在も月に三十人平均で増え続けています。高齢者比率は県内で最も低く、平均年齢も三九・二歳と県内で最も若い町です。年代で一番多いのは五十歳代です。

**Q** 藍住町のバリアフリーの普及状況と町の対策は。

**A** 藍住町で最近作られた施設ではバリアフリー化をはじめ全ての人が施設等を利用するのに支障がないよう配慮をしていますが、古い施設や道路はそうでないのが現状です。これを一挙に改善することは財政的に不可能なので、重要と思われる所や緊急を要する所から実施していくことになっています。

**Q** 排水路工事はどのように行われているのですか。排水がでなくなったらどうするのですか。排水路が無かったり、流れが悪い所を順番

**Q** 役場内での地球温暖化対策は。大地震が来たときの対策は。

**A** 夏の冷房温度を二八度、冬の暖房温度を一九度に設定する等、実施

**Q** 障害者福祉について、在宅で外出や入浴等の援助を希望したいとき、どこへ行けばサービスを受けることができるのですか。

**A** 二〇〇三年四月に支援費制度が導入され、

**Q** 藍住町の人口の推移は。少子高齢化は他の市町村に比べて進んでいるのですか。何十歳ぐらい

**Q** 少しでもきれいな水を流すために、どのような工夫が必要なのか。

**A** 水を汚す大きな原因の一つが生活排水です。生活排水は、台所、トイレ、風呂、洗濯など日常生活からの排水のことで、私たち自身が汚れた水を出るだけそのまま流さない工夫をすることが必要だと思います。調理の手順を工夫し無駄なく水を使う等、実践することで川や海の汚れが少しでも改善されると思います。

**Q** 学校のトイレは詰まったりドアが壊れていたりして快適に使えません。町としての取り組みは。

**A** 壊れている所は直ぐに修理をするのが一番良いと思っています。しかし限られた予算の中で校舎等を修理していますので、使うのに支障のない場所はどうしても後回しになるという現実もあります。トイレに限らず他の学校施設についても大事に使うことをこの機会に改めてお願いいたします。

**Q** 道路が計画的に作られているのか疑問を

持つことがあります。新しい道路を作るときの計画はどのようにしているのですか。

**A** 急速に人口が増加し宅地開発が進んだため道路整備が追いつかず、狭い道路や行き止まりの道路等が見られます。町は道路計画の中で幹線道路を定め計画的に整備しています。道路がない所に新設する場合もありますが、普通は現在の道路を広げて改良することになります。

**Q** 下水道整備にはどの位の年月や予算がかかるのですか。各家庭の負担はどの位ですか。

**A** 藍住町での事業は全体計画で、計画処理面積約八七三ヘクタール、計画処理人口三五、〇〇〇人、概算事業費約二二七億円、計画目標年次は平成三十年代となっています。下水道整備に必要な費用の一部や生活排水処理・施設維持管理の費用負担である受益者負担金や使用料は、住民の代表である議会議員と相談して決めることになっています。

**Q** 総合開発計画について大変なことはありましたか。行政改革では町民を思い行っていることはありますか。

**A** 国土総合開発法による総合開発計画は国や都道府県が作るものであり、市町村では地方自治法により基本構想を立てることが義務付けられています。策定にあたって、住民の生活や福祉を第一に考え、どのように住民の意見を集約・反映させるかが最も大事であり難しい所です。行政改革では、分かり易い親切的な役場となるよう、また少ない経費で大きな効果が出る工夫をするなど職員が力を合わせて改革への努力をしているところです。

**Q** 介護保険料や町税はどのような人達からどのようにして集めているのですか。使われ方などを教えてください。

**A** 町税は藍住町税条例や地方税法等の法律で定められている課税対象や税率などの課税要件により課税されます。徴収の方法は税の種類ごとに定めら

れています。税金は私たちが安全で豊かな生活を営むための様々な公共サービスに使われています。介護保険は四十才以上の人が加入し、町は六十五才以上の人の保険料を徴収しています。

**Q** 宅地開発やゴミのポイ捨てが増え動植物が減っているように感じます。公園には不快な落書きも沢山あります。また、町内の公共施設のアスベスト使用状況や対策は。

**A** 多くの自然が失われる中で、これからの町づくりは環境保全に配慮しなければなりません。町で管理している公園では落書きや破損等が後を絶たず平成十七年度の修理費用は二五六万一千円にのぼっています。公園は町民の皆さんの憩いの場所であり大切に使用してもらいたいと思います。アスベストの使用状況は、学校施設を含む一部の施設で使用が確認されていますが、調査中の一箇所を除いて、何れもその含有量は規制値よりかなり低い割合で、対策が必要な所はありません。

**Q** どうして町民プールは廃止されたのですか。学校教育についての教育委員会の考え方は。

**A** 町民プールは施設が古くなったため等により、取り壊すこととなり、新設について検討を重ねましたが、財政状況が思わしくないことから廃止に踏み切りました。しかし建設を望む声が寄せられ、このような意見を大事にして努力することも政治の責任であり、これからも建設に向けて検討を重ねていきたいと思っています。学校教育では、一人ひとりが自分自身や未来をしっかりと見つめ、人間としてより良く生きるために必要な道徳性を主体的に身につけて行くことが大切だと思っています。

**Q** 藍住町のゴミ量はどのように変化しているのですか。藍住町で一番多いゴミは。

**A** 家庭から出るゴミの量は一年間で約一万三千トンでこの内、燃やせるゴミが一

番多く約七千六百トンとなります。ゴミの量は人口増加に比例して増え続け、ゴミの処理費用も増加し平成十六年度には約五億六千万円もかかっています。

**Q** カーブミラーを設置するには何か規定があるのですか。危険な場所には取りつけてもらえるのですか。

**A** 特に規定はありませんが個人の住宅の出入り口に設置する場合、町から費用の二分の一を補助する補助要綱があります。住宅が増え見通しの悪い交差点も沢山あり危険な箇所には出来るだけ設置をしていきたいと思っています。建設産業課へ申し出ていただきましたら、現地を確認し、関係者の了解等を取ってから設置するようになります。



# 議会のうごき

## 2月

- 2日 防災対策特別委員会
- 合併調査特別委員会
- 議会だより編集委員会
- 6日 板野郡議長会定例会
- 8日 中学生議会
- 15日 徳島県市町村トップセミナー(徳島市)
- 17日 まちづくり特別委員会
- 18日 藍住・北島吟剣詩舞大会
- 21日 徳島県町村議会議長会定期大会(徳島市)
- 22日 宮城県加美町議会視察来庁(議会運営)
- 24日 議会運営委員会
- 28日 平成18年第1回臨時議会

- 11日 中学校卒業式
- 14日 3月定例議会一般質問
- 16日 厚生常任委員会
- 小学校卒業式
- 17日 建設産業常任委員会
- 幼稚園卒園式
- 20日 文教常任委員会
- 22日 総務常任委員会
- 24日 3月定例会閉会
- 小・中学校職員離任式
- 27日 板野西部青少年補導センター組合議会
- 28日 板野東部消防組合議会

## 3月

- 8日 3月定例議会開会
- 議会全員協議会

## 4月

- 3日 小・中学校職員着任式
- 11日 小・中学校入学式
- 18日 議会全員協議会
- 27日 議長会事務説明会並びに町村議会事務局長・職員研修会(徳島市)

## 定例会案内

次の定例会は6月です。

次号は8月に発行します。

\*\*\*お問い合わせ\*\*\*

議会事務局 ☎637・3127

## 本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承ください。



第2回クリーンアップ大作戦

## 編集後記

本年四月一日からの介護保険法改正では、被保険者が要介護状態等になることを予防すること、要介護状態等になった場合でも、可能な限り地域において自立した日常生活が出来るよう、利用者本位・選択権の保障が得られました。

しかし、介護給付費の増大がそのまま保険料に跳ね返る制度でもありますので、適正な運用が求められます。目的達成のために本町では直営の地域包括支援センターを設置、公正・中立の立場での推進を示しています。必要な方に必要なサービスが届き、生きがいある地域づくりに期待します。

## 議会だより編集委員会

- 委員長 林 茂
- 委員 江西 博文
- 委員 西岡 恵子
- 委員 喜田 敏夫